

議会だより 吉野ヶ里

40号

平成28年
9月定例会



今日は、がんばります (吉野ヶ里保育園)

● 平成27年度決算・質疑応答	2
● 決算審査報告	4
● 9月定例会	5
● 議案賛否状況	6
● 一般質問	7
● 議会報告会	15
● 議会報告会・意見書・編集後記	16



議員が原稿作成・編集した
議会だよりです

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2

TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサム ティー&ビー【発行年月日】平成28年10月27日

議会会議録がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町のホームページ <http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>
にアクセスし「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリックしてください。

決算特別委員会 質疑応答

9月6日から8日までの3日間、決算特別委員会を開催し、森田委員長のもと平成27年度決算審査を行ったので、主な質疑を報告する。

歳入関係

Q 町民税、固定資産税など回収の見込みはあるのか。

A 滞納整理係で対応。前年度より四税で871万2千円程度収入未済額が少なくなっており、前年度以上の額にならないように努力する。

Q 入湯税が1128万2400円あるが、入湯者数はどうなっている。

A 1人50円の入湯税で約22万人位になる。総入湯者数は24万7838人である。

Q 基金で国債の保有額が30億とあったが、内容は、

A 地方公共団体債が10億で、後の20億

が国債で、20～30年物である。

Q H27年度の税の収納状況は。

A 収入未済額個人住民税約251万円、固定資産税約157万円、国保税約446万円、軽自動車税約15万円、4税合計約871万円となっている。

Q 徴収率については、県内でも上位の方である。

A 住宅使用料について、連帯保証人のうち1名は、親族を入れるなど検討し、未納者への徴収を厳しく行うべきでは。

Q 条例により、町内居住の2名が保証人として必要であるが、

A 特別により最低1名は町内として町外の親族も可

としている。

Q 厳しい対応で徴収する。27年度末での町営住宅の空室42戸は全体の1割近い、入居者を増やす努力が必要では。

A 町広報紙やホームページへの空き室情報の掲載を行う。

Q 町営住宅改修基本計画により、大規模改修を検討する。

歳出関係

Q 個人番号通知カードは100%住民に届ける努力をすること。

A 8月31日現在の未配達は42世帯で電話でお知らせしている。

Q マイナンバーカードの申請は1083名で人口の6.68%の割合となっている。

A ふるさと応援寄附金については、町内企業や商工会と連携し、納税を増やすための行動をすること。

Q 3227万1千円の収入で、865件の寄附額である。40%の返礼品割合で、主に町内企業等をお願いしている。

Q 子どもの医療費助成金の実績はどうか。

A 4693万円の実績で、乳幼児3019万円、小学生1332万円、中学生入院で151万円、通院で191万円となっている。



吉野ヶ里歴史公園北口開園式

Q 背振共同塵芥処理建設費負担金は、平成35年度目標の広域処理設計画までに終わるのか。

A 27年度負担金は1405万円、新広域処理組合発足前の34年度で終わる。

Q 緑の少年団補助金が0円である。活動に対する考えは。

A 自然の大切さを学ぶための活動が必要であり、今後は教育委員会もかわっていく。

Q 軽トラ朝市の町における位置付をどう考えているのか。

A 町の商工業振興と歴史公園を中心とした観光としての位置付けである。

Q 学力向上支援員賃金421万円、効果はでているのか。

A 数学などで対応している。目に見えた効果はないが、徐々に

Q 弥生の都吉野ヶ里交流事業の活動内容は。

A 福岡市民と吉野ヶ里町民との交流を目的として、タケノコ掘、ミカン狩、町内の歴史学習や秋の山茶花観光など実施している。

Q 不妊治療費助成143万円あるが、利用実績など効果はどうか。

A 11組の方が16回治療を受けられ、2

組の方が妊娠された。

Q 永道橋梁工事、県委託と町直接発注とのメリット、デメリットは。

A 今回は河川改修と一体化した建設が出来るのでメリットと考えている。

Q 職員定数は140名となっているが臨時職員等は何人か。

A 条例定数は157名となっているが今の正規職員は再任用ま

で言んで140名であり、再任用の短時間職1名、臨時的任用職7名、嘱託27名、臨時60名、出向が2名で合計237名である。

Q 文化体育館の基本設計ができたが、今後実施設計に当たっては、金額も含めて議会の同意を取って進めていくのか。

A これまで時間をかけ、多数の意見を聞き利用者のニーズにも

応えるべく精査してきたので、今の金額を超えないように進めていく。

Q 不用額1億6318万円は、事務的確にやれば減らせるのではないか。

A その折々に補正事業で使うように担当課長に言ってきたが、今回は、繰越事業、特に道路関係で用地交渉が進まなかった。

Q 農協東脊振支所がなく、三田川だけになると、年金等で高齢者は大変だ。東脊振庁舎内に窓口を設けることはできないか。

A 農協から一度打診はあったが、その後は進んでいないので、動きがあれば進

めていく。

Q 町立保育園を継続するのか、民営化すべきで、方針を打ち出し、議会に諮り、先送りはすべきでない。

A 町立保育園の民営化は行政改革委員会から検討を要する旨の意見がある。

町全体の保育の在り方のなかで民営化は検討すべきと「検討委員会」に諮問、当分の間、現状維持との答申を受けている。



なんば、つくいよっと



三田川支所に統合されるJA佐賀東脊振支所



町立保育園

決算特別委員会で決算審査

平成27年度
決算認定

会計別決算状況

会 計	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
一 般 会 計	77億1720万5068円	74億2085万 440円	2億9635万4628円
国 民 健 康 保 険	19億6231万4186円	18億8602万2805円	7629万1381円
下 水 道	15億4077万5494円	15億2269万6560円	1807万8934円
簡 易 水 道	215万8719円	213万8385円	2万 334円
後期高齢者医療	1億6195万9944円	1億6159万4635円	36万5309円
合 計	113億8441万3411円	109億9330万2825円	3億9111万 586円

決算特別委員会報告

平成27年度一般会計・特別会計の5会計決算について28年9月6日・7日・8日、3日間において歳入歳出決算書、監査委員の決算審査意見書及び健全化判断比率等審査意見書、該当決算における主要な施策の成果説明等で審議を行った。

〔一般会計歳入歳出決算〕

収入未済額5,169万4,985円で不納欠損額117万5,976円収入未済額の主なものは、町税が3,556万7066円、使用料及び手数料1,469万6,619円である。

翌年度へ繰り越すべき財源 1億967万円、実質収支額は1億8,668万5,000円となっている。

〔国民健康保険特別会計歳入歳出決算〕

歳入において国民健康保険税の収入未済額は43,492千円不納欠損額は716千円となっている。

主な意見

※肥前精神医療センター分の医療費が国保を圧迫している。1億7千万円の医療費は由々しき問題。厚生労働省に対し特別の配慮を要請すべき。

〔下水道特別会計歳入歳出決算〕

繰り越すべき財源4,828千円、実質収支額13,250千円収入未済額は5,480千円

※使用料の値上げも考える時期

〔簡易水道特別会計歳入歳出決算〕

実質収支額21千円

〔後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算〕

実質収支額365千円 収入未済額188千円

決算特別委員会委員長 森田浩文

決算審査意見書

平成27年度決算は、一般会計及び特別会計を通じて、その計算に誤りがなく、証拠書類も整備され、会計経理は適正であった。また、財政も健全に運営され、次年度へ引き継ぐことができたことは、町財政当局の努力があったからだと考える。

前年度に引き続き一般会計及び国民健康保険特別会計において、収入未済額については減となっている。しかしながら、収入未済は、利用する住民の公平な負担の原則から逸脱しているので、条例や契約内容を吟味し、不公平感が出ないように早急な対策が求められる。関係各課による徴収対策会議において徴収ノウハウの共有を図り、一層の徴収向上に努めていただきたい。

現在の経済状況からは町税等の一般財源の大幅な伸びができない中、法人町民税の動向が、大きく影響しているので、的確に動向調査をされ、健全財政確立のため財源確保に努めること。また、町民のニーズに即した諸施策推進のため、予算の計画性、有用性、効率性を高める執行を望み、吉野ヶ里町の益々の発展と町民の福祉向上のため、更なる努力をされたい。

(決算審査意見書より抜粋)

吉野ヶ里町監査委員

寺崎 泰法・古川 輝英

平成28年第3回

9月定例会

9月定例議会は、9月2日から16日までの15日間の会期で開催され、報告3件、議案19件、決算認定5件、意見書1件の合計28件を審議し、可決・認定された。

条例改正

○印鑑条例の一部を改正する条例

コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機で個人番号カードの利用による印鑑登録証明書の交付サービスを実施するために改正。

○家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

補正予算

○一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ4億

859万3千円を追加し総額を82億5655万5千円とする。

●歳入の主なものは

地方交付税8521万円、さが園芸農業者育成対策事業補助金478万円、個人番号カード交付事業費補助金380万円、合併特例事業2億9150万円、前年度繰越金6688万円等の増額と財政調整基金繰入金3716万円の減税である。

●歳出の主なものは

・総務費 通知カード・個人番号カード関連事務交付金380万円である。
・農林水産事業費 さが園芸農業者育成対策事業補助金573万円である。
・商工費 農山村体験交

流施設駐車場測量設計、保安林解除申請作成委託料620万円及び、その支援業務委託料35万円の減額である。(さざんか千坊館の駐車場増加を目的に東側山林の造成を検討したが、費用対効果を鑑みて実施見送り。)

・土木費 特定防衛施設周辺整備調整交付金生活道路舗装工事に使う工事請負費として250万円、上石動2号線の道路拡張に向けた測量設計委託料として904万円である。

・教育費 東脊振小学校と三田川小学校の体育館天井改修工事に對する設計事務の委託料及び支援業務の委託料が585万円である。また保健体育費として、平成27年度の県民体育大会町の部で優勝した本町であるが、県民体育大会出場選手派遣に伴う補助金として106万円である。

・災害復旧費 6月の大雨に對する災害復旧とし

て、林道災害復旧工事に137万円、農地災害復旧工事に546万円である。

○国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ3908万4千円を追加し、総額19億650万2千円とする。

●歳入の主なものは

療養給付費交付金316万円、前年度繰越金3629万円である。

●歳出の主なものは

償還金及び還付加算金2292万円、予備費1651万円である。

○下水道特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ2259万6千円追加し、総額8億7236万円とする。



掘削段階で想定以上に、湧水と石が出たため、工事変更が繰り返されている。

問 吉野ヶ里町が負担する、協議会負担金や建設負担金は、町民が納得する負担金であるべき。神埼市が行うべきハードやソフト事業と葬祭公園事業整備として行う事業の、すみ分けの議論はできているか。

答 町長 すみ分け線引きは、今後ハッキリとしていきたい。

問 事務的に一部事務組合を設立すべきでない。要望にかかる事業内容等の精査を行い、葬祭公園整備の総事業費算出を行って一部事務組合は設立すべき。

答 町長 葬祭公園の財源は合併特例債。

問 活用できる年度が32年度までである。一部事務組合の設立を12月に是非とも行っていないか。

答 町長 他は模索は考えられない、着実に先に進めて行く。

問 正職員140名以外に、97名も

答 町長 他は模索は考えられない、着実に先に進めて行く。

問 神埼市が行うべき事業と葬祭公園設備事業のすみ分けの議論は

答 町長 他は模索は考えられない、着実に先に進めて行く。

問 葬祭公園整備事業では、必要以上の建設費や補償費などの投資が必要である事が考えられる。脱退するならば吉野ヶ里町の負担金が少ない時点が良いと判断する。他を模索するのも必要ではないか。

答 町長 他は模索は考えられない、着実に先に進めて行く。

問 神埼市が行うべき事業と葬祭公園設備事業のすみ分けの議論は

答 町長 他は模索は考えられない、着実に先に進めて行く。

問 葬祭公園整備事業では、必要以上の建設費や補償費などの投資が必要である事が考えられる。脱退するならば吉野ヶ里町の負担金が少ない時点が良いと判断する。他を模索するのも必要ではないか。

答 町長 他は模索は考えられない、着実に先に進めて行く。

問 神埼市が行うべき事業と葬祭公園設備事業のすみ分けの議論は

答 町長 他は模索は考えられない、着実に先に進めて行く。

問 葬祭公園整備事業では、必要以上の建設費や補償費などの投資が必要である事が考えられる。脱退するならば吉野ヶ里町の負担金が少ない時点が良いと判断する。他を模索するのも必要ではないか。

答 町長 他は模索は考えられない、着実に先に進めて行く。



立石良雄 議員

神埼市が行うべき事業と葬祭公園設備事業のすみ分けの議論は

【町長】すみ分け線引きは、今後ハッキリとしていきたい

問 神埼市が行うべき事業と葬祭公園設備事業のすみ分けの議論は

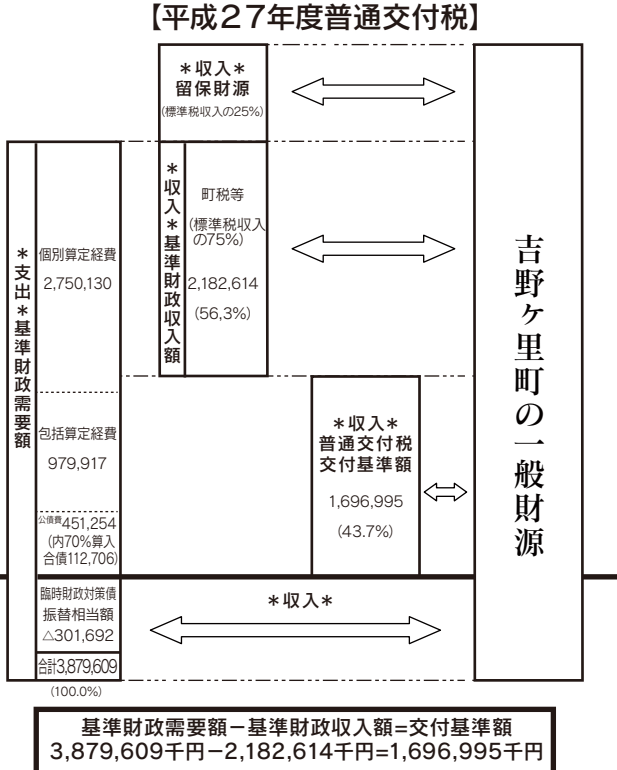
答 町長 他は模索は考えられない、着実に先に進めて行く。

問 神埼市が行うべき事業と葬祭公園設備事業のすみ分けの議論は

答 町長 他は模索は考えられない、着実に先に進めて行く。

問 神埼市が行うべき事業と葬祭公園設備事業のすみ分けの議論は

答 町長 他は模索は考えられない、着実に先に進めて行く。



町政へもの申す

次頁から「一般質問に8人が激論

9月 定例会 案件賛否状況

	第3回(9月)定例会													
	第3回(7月)臨時会	平成28年度吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	平成28年度吉野ヶ里町簡易水道特別会計補正予算(第2号)	平成28年度吉野ヶ里町下水道特別会計補正予算(第2号)	平成28年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	平成28年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第2号)	吉野ヶ里町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町印鑑条例の一部を改正する条例	平成27年度吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	平成27年度吉野ヶ里町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	平成27年度吉野ヶ里町下水道特別会計歳入歳出決算認定について	平成27年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	平成27年度吉野ヶ里町一般会計歳入歳出決算認定について
結果	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
表決数	11 0	11 0	10 0	10 0	10 0	10 0	10 0	10 0	10 0	10 0	10 0	10 0	10 0	10 0
森田浩文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古川清春	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
馬場茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古川輝英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古川勲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊東和孝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筒井佐千生	○	○	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
城島敏行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
立石良雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中島正晴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
多良光英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊東健吾	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※議席番号順

○=賛成

●=反対

欠=欠席

—=議長は議決に加わらない



古川清春 議員

県内自転車盗難 ワーストワン

「町長」速やかに対処し改善する

問 本町の防犯対策の現状は

答 総務課長 平成28年6月末現在で刑法犯の総数は、53件。犯罪率（人口10万人当たりの刑法犯認知件数）は昨年同時期7位より5位と悪くなっている。特に、顕著に増加したのが、自転車盗難で21件、昨年同時期より9件増加している。

問 吉野ヶ里公園駅周辺の自転車盗難が激増しているが具体的な対策は

答 総務課長 駐輪場での盗難防止策として、整理整頓できる状況を作り管理していく。

具体的には、地権者との協議が必要である。

問 町長 吉野ヶ里公園駅周辺の自転車盗難発生件数が激増している現状に対して速やかに対処し改善していく、具体的対策については、担当課と協議・検討し実施する。

答 防犯対策について具体的な取り組みとしては、
・街頭補導・防犯ブザー貸与・「こども一〇番の家」のぼり旗設置・防犯パトロール者に対する

講習会・自転車力ギかけ広報・小中学校等にての不審者対応訓練等及び防犯講話等実施。



盗難多発駐輪場（駅南側）

問 活気ある町づくりについて。

答 平成28年度吉野ヶ里子ども議会でも2名の中学生が一般質問している。質問事例「祭りの増加・活性化について」「未来へ向けた町づくり」であった。子供達も活気ある町づくりに対して感心を持っている。町はどう考えているか。

問 企画課長 平成27年度から31年度までの5年間の「総合戦略」を策定し活力ある地域社会を作り維持していく。

答 総務課長 住む人が安心・快適に暮らせる町づくりを進める。

問 商工観光課長 祭は目的があり、魅力的な祭は継承し、町の振興発展を図ることが必要だと考える。

答 社会教育課長 「お互い支えあえる地域のコミュニティのまちづくり」の現実を積極的に進め活気ある町づくりに取り組む。

くりに寄与する。

問 建設課長 安心で安全な住みよい町づくりに鑑み、町づくりの基盤である道路整備の充実を図る。道路維持管理（応急補修）での早急な対応と交通安全対策。



吉野ヶ里子ども議会

他一般質問事項
・ふるさと応援寄附金（現状・方針と対策）
・基地周辺整備（防音対策と現状）
（立野地区東側水路）



伊東和孝 議員

1億7千万円増 下水道工事変更に問題

「環境課長」予想以上に小石、出水が多かったため

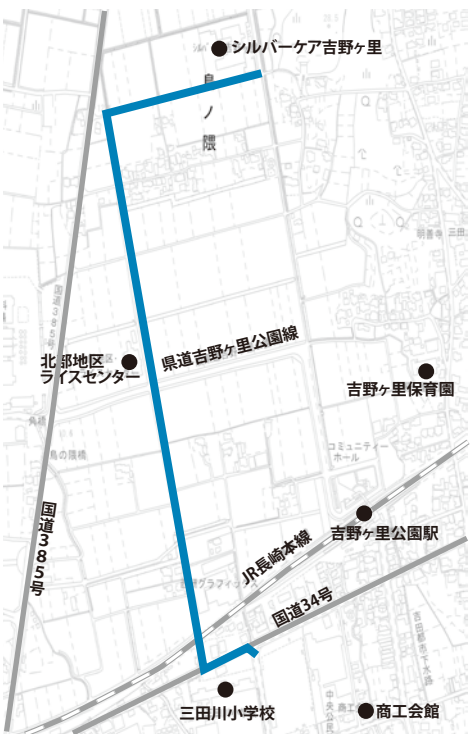
問 下水道管渠布設工事（シルバークア吉野ヶ里く三田川小学校）区間、何度となく工事変更があったが、当初事業費と最終見込事業費はいくらになるのか。

答 環境課長 当初予算2億3352万円が、最終4億1269万円になる見込み。

問 差引1億7916万円の増になる。何が原因でこれだけの事業費増になったのか。

答 環境課長 工事施工中に予想以上に石や出水が多く発生、工事内容変更箇所が多かったことが、事業費増になってしまった。

西部污水幹線公共下水道管きょ布設工事箇所図（第Ⅱ-2、Ⅱ-3工区）工事延長1364.3m



問 ボーリング調査による基本設計が甘かったと思えない、設計の段階でもっと慎重に行うべきと思うが。

答 副町長 27年度工事は、わからないが、基本的に設計事業者がボーリング業者を委託するのは如何かと思う。

いずれにしても工事変更が何度とあった事は問題と思う。指名業者選定、入札の有り方を重視したいと思っている。

問 町長 1億7千万円の工事費増に関するは大変遺憾だと思っている。

問 現在町内において、土木業者が10社あり、特A、A級が4社、C級3社、級外3社となっている。中小業者育成のためにも受注出来るような発注は出来ないか。

答 建設課長 土木工事においては2千500万円以上は特A、A級業者、800万円く3千万円未満はB級、1千万円未満はC級、800万円未満は級外と入札参加業者が決められており、指名委員会審査を行い決定している。

問 業者のランク付はどのようにしてなされているのか。

答 建設課長 入札に際しては、関係する業者に登録されている業者のランク付けがされている。それに準じてランクを決めている。

問 例えば、道路工事において、分割発注出来るものは、分割して、C級、級外業者でも受注出来るような、手法は出来ないか。

答 副町長 今後はC級業者、級外業者にも受注出来るような配慮を各課長ともに努力したいと思う。

問 町長 町長に就任したおり、中小業者との話し合いをした時に、問題は年度末の発注において他は他の仕事があり受注出来ないとの声もあり、年間を通じて均等な発注をするような指示もしている所であり、また分割発注においても、極力出来るものは分割してC級、級外業者にも受注出来るように、指名委員会に指示をしていきたい。



森田浩文 議員

【町長】生活環境の充実を目指す

故郷づくりUターン政策の
充実が地方創生の鍵

問 人口減少が進む中、定住促進を図るためには若い世代が残る「地域作り」が鍵となる。Uターン政策の充実が必要。対策は。

答 学校教育課長 ふるさと教育として町の歴史や文化を学ばせて、郷土愛を育てている。

答 住民課長 今年の18歳の時点でも24名13%が転出している。

答 企画課長 地方創生関係事業として町内移住促進事業等を活用し9件の移住があった。移住者、若い世代のために新しい住宅用地の確保が必要。

問 松隈地区、新宮田南部、国営公園北口付近等、住宅地になり得る場で、区画整理事業の予定は。

答 企画課長 現時点での予定はない。必要性は認める処もあり総合計画に沿って検討する。

答 農業委員会局長 松隈地区でも多くが農用地であり、宅地化への用途へは農振除外等の手続が必要。

答 町長 松隈地区については民間業者へ開発等の相談はしたが、学校へ遠い等の問題点が指摘された。

問 いるにも関わらず、資金計画がずさん。今後地方交付税も減額されていく中で、PFI方式の導入など新しい資金調達の研究も必要だが状況は。

答 企画課長 住宅用地確保に向けた区画整理事業等が予定されれば、研究を手掛ける。

問 地方議会のあり方が全国的にも注目をされている。分かりやすい町の情報公開のためにもインターネットによる議会の動画配信が必要だと考えるが。

答 町長 情報公開の時代であり、議会の同意が得られれば進めていきたい。

問 温浴施設周辺の遊休町有地について、民間に提案を求める前に最低限のインフラの整備が必要であり、施設とタイアップした宿泊所など行政独自に活用案を一つでも示す努力はしないのか。

答 商工観光課長 温浴施設、文化体育館には、宿泊施設は必要。宿泊施設の企業誘致は行っていきたい。

答 町長 町で宿泊施設を建設する事は考えていない。土地活用については民間からの提案を待ちたい。



中山間農地は環境を活かした住宅地へ転換できるのでは



古川勲 議員

町が管理する公共施設の
取得価格の総額は

【財政課長】45施設で、建設当初の取得価格は用地費を除き185億円

問 老朽化が考えられる公共施設の内部は。

答 財政課長 建築から30年を目途とすると、温水プールなど17施設ある。

問 近い将来の大規模な改修や修繕にどのように対応していく考えなのか。

答 財政課長 人口構成の変化に伴い公共施設への住民ニーズも変化していく。長期的視点をもって、更新・統合・長寿命化など計画的に行い、財政負担を軽減し、平準化を図っていく。公共施設の維持管理等にかかる財



天井が崩落した温水プール

問 政負担はどれくらいか。

答 財政課長 光熱水費、修繕費など毎年約3億円で、一般財源を投入している。

問 保有する公共施設を総合的に把握しながら管理・活用する仕組みである「公共施設マネジメント」を導入することが急務と考えるが。

答 財政課長 公共施設マネジメントの考え方は重要であり、公共施設等総合管理計画を28年度内に策定する。また、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める個別施設計画を32年度を目途に策定する。

問 公共施設の維持管理にかかる経費見通しと、その財源確保はどのように考えているのか。

答 財政課長 大規模改修や施設更新に係る経費については、現時点では示せない。財源については、国庫補助金、公用及び公共施設建設基金、起債になると考えている。



完成した吉野ヶ里歴史公園北口と町道公園北口線

問 道路橋の老朽化対策 町が管理する道路の総延長と橋の総数はどのようになっているのか。

答 建設課長 町道313路線、総延長134km、120橋がある。

答 農林課長 林道12路線、総延長27km、4橋がある。

問 橋の近接目視点検は県内全体で35%実施されているが、本町の実施状況はどうか。

答 建設課長 120橋中38橋の32%が終了、15m以上の橋梁は点検終了した。30年度までにすべての橋の点検が終了する。

問 長寿命化修繕計画では、50年間の分の橋の修繕計画が策定されているが、修繕費用はどうなっているのか。

答 建設課長 26年2月に再度計画を見直した。50年間の事業比較では、対処療法型で20億円に対し、予防保全型が12億円となり、約8億円のコスト削減効果が見込めるようだ。



中島正晴 議員

仮称 西石動工業団地 同意から2年間協議されず放置

「町長」なるべく短期間で推進を図る

問 三津工業団地の構想を公表されていたが、面積、筆数、地権者数はどうなったか。また、地権者による推進協議会との協議は、どの程度進んでいるのか。

答 企画課長 計画地の面積約16ha、地権者数30名、筆数160筆である。

問 工業団地の事業主体は、どのような手法で実施する計画であるのか。

答 企画課長 佐賀県まち・ひと・しごと創生総合戦略事業に乗せる予定であったが、一

問 そのような重大な事業を、何故議会に報告されないのか。

答 町長 議会への報告、協議を怠ったことは、お詫びする。創生総合戦略事業は断念するが、不同意の地権者との交渉を続けると共に、他の事業での推進を模索し検討したい。



仮称 西石動工業団地の計画地

答 企画課長 計画予定地の面積4.8ha（内町有地0.9ha）、筆数40筆、地権者20名である。企画立地可能性調査を行い、区長及び地権者の要望に基づき、平成26年9月説明会を開催、10月同意書が提出された。

問 平成26年10月同意書提出から2年間の推進状況は。

問 町内空き家の戸数が125戸あるが借家として活用できる空き家は、空き家・空き地バンクを設置し、斡旋すべきではないか。

答 建設課長 県内市町の動向や状況等を調査、研究し、バンク制度の活用を検討したい。

問 町営住宅の空き室対策は、リニューアルより入居の条件緩和を要望活動すべきでは。



空き室が多い中の原団地 D棟

答 企画課長 地権者と約2年協議していない。今後「さが創生工業団地整備推進事業」と連携して事業展開を図っていききたい。

問 推進協議会を発足し、予算を付け推進すべきではないか。

答 町長 なるべく短期間で推進を図りたい。

空き家・空き地バンクの設置を

現状では無理と思われる。



馬場 茂 議員

文化体育館 アクセス道路の検討は

「町長」32年度までに二つ二つ前に進めて行く

問 現在、何もない時でも渋滞がひどく、役場から右折して出ることも出来ない状態の時がある。今後那珂川の道路整備が進めば、益々交通量が増えて、それに文化体育館ができれば大変な渋滞となるだろう。アクセス道路はどの様に進んでいるのか。

答 ダム事業推進課長 洪水緩和策として国道385号から西方面へのアクセス道路については、東脊振庁舎南テニスコート南側の道路の拡幅改良整備を検討しており、東方面へは、文化体育館を挟んでの南北の道路について、拡幅改良を

行い東側に抜けるルート、及び建設予定地南側道路から田手川河川敷道路を経由して県道佐賀川久保鳥栖線に抜けるルートの整備を検討し、更に、河川敷道路を北へ經由して、丸山球場側から東側に抜けるルートの整備を検討している。

また、中副交差点においては、渋滞解消対策として北からの車線「左折レーン」の整備としての交差点改良工事が必要と考えている。これについては道路管理者である「佐賀県東部土木事務所」と協議を行っているところであり、早期着工に向けて要望等を行っている

たい。河川敷道路拡幅改良については、土木事務所における河川改修工事に合わせて進める予定だ。

問 西へは

テニスコート南側の道路拡幅改良と言われたが、現在は農道であり町道認定しなければ拡幅できないのではないのか。



中副交差点の渋滞状況

答 建設課長 指摘のあるため整備にあたっては町道認定という条件が必要である。

問 体育館も急がないと間に合わないなら、このアクセス道路も同時進行でなければならぬのではないか。それに今言われた農道

を広げて西へ逃しても、今度は逃した先の南北の道路も拡幅しなければだめだし、田手川の河川敷も一級河川だから簡単に許可が降りるのか。

答 建設課長 河川改修については、岩倉橋までの区間を35年までの計画で図っており、管理道路としては3メートルまでが県の管轄で、それ以上は町での用地取得が条件となる。

問 出来たとしても所がネックとなる。国に要望して385号がある区間で4車線に出来ないか。

答 町長 期限が32年度で本当に時間が足りない、一つ一つ精査し前に進めて行く。

※他に、過去の質問に対する追跡と首都圏吉野ヶ里会について質問。



城島 敏行 議員

【建設課長】遅れないよう土木事務所と協議を続けていく

河川改修工事はいつ行う予定か。

問 建設予定地周辺は、イベントや学校行事が重なれば渋滞を起こしている。

答 田手川河川管理道路を経由し、佐賀川久保鳥栖線に抜けるルートと、河川管理道路を丸山球場から東へ抜けるルートを検討しており、「河川改修と併せて行う」と6月議会で答えられたが、土木事務所は河川改修をいつ行う予定か。

答 建設課長 田手川改修工事整備計画では、岩倉橋までを平成35年度となっており、永道橋改修工事や築堤護岸工事、鴨井手堰改修など南側からの整備となるた

め、整備計画年度については、遅れる模様である。昨年11月に国道385号、河川管理道路の拡幅改良の協議を行ったところ、河川管理道路の幅員は、3mが原則であり、それを超える拡幅工事は町で用地取得が必要である。

また県道鳥栖川久保線との接道においては、交差点改良工事が必要であり、河川改修時期をはじめ、協議を続けていく。

問 国道385号から学校側へ進入する右折レーンがなく、右折車が後続車を通行止めをしているが、国道385号の道路拡幅はどのよ

うになっているのか。

答 町長 東部土木事務所の見解としては、東脊振インターから385号中副交差点までの間は、改良済みであり、この間の渋滞解消については、佐賀県農協東脊振支所の撤退や、森林管理署跡地の買収も踏まえ、アクセス道路整備として町で行う箇所と、県にお願いすべき箇所の内容を整理し、土木事務所に要望を行っていく。

問 通学路の安全確保、385号渋滞緩和などの交通安全確保のための、モニタリングは行ったのか。

答 ダム事業推進課長 平成22年度に道交センサスによる、東脊振インターから中副交差点までの、交通量調査が実施されたが、現在のところ交通安全確保のためのモニタリングは実施されていない。

考えを述べさせていただいたところだ。今後広報誌等に掲載し住民に周知して、文化体育館建設に関する情報を公開しながら、事業への理解を求めたいと考えている。

問 文化体育館建設住民説明会で住民の意見、民意を聞くことができたのか。今後住民説明会は、どのように計画をされているか。

答 ダム事業推進課長 住民説明会では、変更理由や場所など、出された質問や意見に対しては、町の



田手川河川敷迂回道路 未だ計画未定

議会報告会

会場

東脊健康福祉センター
三田川中央公民館

第3回議会報告会を平成28年7月28日・29日の2日間において開催した。議会報告会の中で出た質問や意見は、次のような内容であった。

問 インターネットで議会の動画配信は行わないのか。

答 現実に議会で行われている議論や政策をダイレクトに伝えるためには動画配信であり、今後、実施に向けて考えていく必要がある。

問 クッキングセンタ―佐賀を今後も利用することに保護者は心配されている。実際に行っていたきたい。

答 現地の調査を実施したいが、調理現場の中には関係者しか入れない実態を認識していただきたい。

問 契約にペナルティ条項を入れたらど

うかなど、異物混入の防止、監視に全力を挙げるように意見を言っている。

問 吉野ヶ里歴史公園の北口が開園、後日事故が発生、安全面の検討を行ってもらいたい。



公園北口道路

問 県営であるため東部土木事務所の所長に事故内容を報告し、

今後の対応と、早急な安全策を行なうよう総務課に責任をもつて伝える。

問 ふれあい交流施設建設で、タケノコ・シイタケ・イノシシ等の加工とあるが、季節により変化する。1年を通しての稼働は。

答 多目的加工所であるため1年の稼働となる。ただし、管理者もまだ決まっていない。担当課と生産者との協議が不十分であると認識している。生産者から積極的に要望してほしい。

問 町内に約100ヶ所突き当たりの道路がある。強い街づくりを推進すると言われるが、全く解消されないが。

答 現在では、新設するには4mセットバックしなければならぬ規定があるが、現有の建物はセットバックしないため、大半が町道認定でぎす狭い道路となっている。

問 建設費用が高額。1000人も利用するような文化体育館は必要ない。まずは議員の考えで規模、予算の縮小をお願いしたい。

答 場所については、アンケートを取るべき。中学校統合も早く行なうべき。

問 面積については妥当。

答 場所については、議会からも異論も出たが権限は町長にある。

問 統合中学校については、人口はそれほど減らない。地方交付税がいくら減額されるか懸念する。

答 合併時10年間は、庁舎と中学校の統合についてはテーマにしないと決めた併を優先させた。当然第2次長期統合計画のテーマになるはず。

問 文化体育館の管理運営費は、相当かかるようだが。

答 文化体育館の維持管理は4000万円から4500万円かかる予測。教育委員会を文化体育館の中に入れて経費軽減を図る方法もある。現在は民間委託か直営か決定していない。

問 文化体育館は、身の丈に合った予算と思う。予算を通す場合の意見を聞きたい。

答 議会は事業費の承認もしていない。住民の立場に立つて議会を進めていく。

問 学校栄養士の採用について、予算が通っているが採用してもらえるのか。

答 予算は計上されている。執行部が精査して提案すると思う。議会も検討する。

問 場所についての住民投票の要請は。間接的民主主義のためある程度は議会に任せてもらいたい。

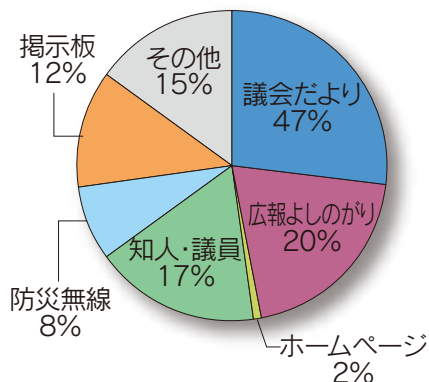


中央公民館会場

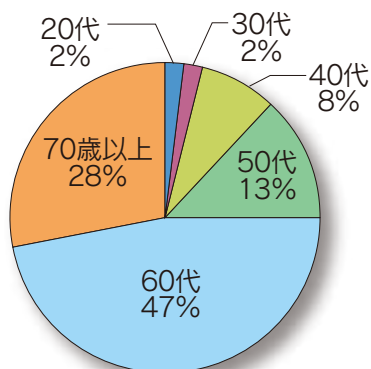


きらら館会場

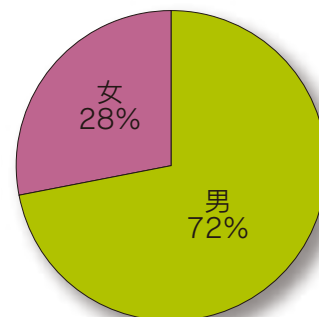
3.この会の開催を 何で知りましたか



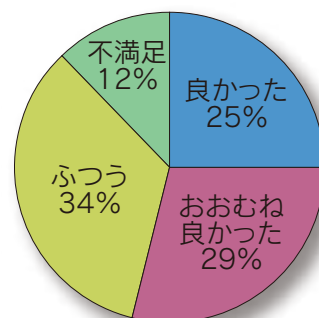
2.年代



1.性別



4.内容について



議会報告会出席者

期 日	場 所	参加者	議員	事務局	参考(うち職員)
7月28日(木)	きらら館	23	12	2	8
7月29日(金)	中央公民館	33	12	2	3

意見書

**地方財政の充実・強化
を求める意見書**

地方自治体の役割は、人口減少対策を含む地方版総合戦略の策定など広範囲の課題に直面している。必要な公共サービスの実現のため、吉野ヶ里町議会では以下の事項の実現を求める。

- 一、財政需要を把握し見合う一般財源総額の確保。
- 二、社会保障ニーズに対する予算確保と財政措置。
- 三、地方行政コストの差を鑑みて一律した行政コスト比較には留意する。
- 四、現状を見極めて地方交付税のあり方を今後も留意すること。
- 五、地方税への税源移譲など財政運営に支障がないような配慮。
- 六、自治体財政運営に不可欠な財源を確保。
- 七、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策。

編集後記

秋めいてまいりました。台風シーズンとなり、進路に一喜一憂している今日この頃であります。

九月定例会は十五日間の会期で開催され、特に決算議会と言われ、決算特別委員会において一般会計を始め、四つの特別会計の審査を行いました。

平成二十七年の予算が適正に執行されたか、行政効果があったか等を見極め、決算を認定しました。

議会だよりの編集にあたり、町民の皆様一人でも多く読んでいただけるよう、編集委員一同努力してまいります。皆様方のご意見を、お待ちしております。

(立石)

○議会広報特別委員会

委員長 多良 光英
副委員長 森田 浩文
委員 立石 良雄
" 筒井 佐千生
" 古川 勲
" 馬場 茂